

## 平成20年度(第1回) 研究発表会 優秀発表賞受賞者

- 1) 目的：学生の論文発表の意欲を高め、近畿支部研究発表会の活性化を図り、あわせて、プレゼンテーション能力の向上を図るため、優秀発表賞を選出し表彰する。
- 2) 対象：学生（修士・博士の学位を持たない学生）で、研究発表申込書において審査を希望したもの  
論文発表プレゼンテーション（態度・内容の理解・発表の工夫・質疑応答等）を対象とする。  
(論文内容が対象ではない)

以下の24人が受賞されましたので、発表いたします。

### 受賞者

- 2007 上町断層帯の予測地震動に対する建物応答に関する研究 ○熊谷由章（京都大）  
2036 制振構造における高硬度ゴムダンパーの最適特性と最適量 ○国分宏樹（京都大）  
2051 木造軸組の静的載荷実験に基づく変形性能評価 ○工藤渉（京都大）  
2058 ASR判定試験法としての反応性シリカ試験法に関する研究 ○伊藤尚子（大阪工大）  
2080 地震後の継続使用をめざした鋼構造建物の残留変形低減システムの開発と実験 ○村田庸介（京大防災研）  
2099 左右の梁せいが異なる鋼構造柱梁接合部パネルの力学性状 ○国次俊旭（京都大）
- 4017 地下街における暗騒音の類型化に関する研究 ○惣司真毅（神戸大）  
4033 植栽群生の熱・水分・空気連成解析 その3 ○松田千怜（京都府大）  
4050 集合住宅における住戸位置の違いが自然通風利用や冷房エネルギー消費に与える影響 ○植本孝広（大阪大）  
4069 住宅における蒸発冷却技術による冷房エネルギー消費削減効果に関する研究 ○繁松健太郎（大阪大）  
4081 置換換気と放射冷暖房を併用した病室のセミパーソナル空調に関する研究 ○CHOI NARAE（大阪大）
- 5004 都市祭礼による地域コミュニティの再構築に関する研究 ○神野夏子（大阪大）  
5030 3次元CAD導入に対する設計者の現状意識と建築形態に及ぼす影響に関する研究 ○中田武臣（大阪大）  
5033 特別養護老人ホームにおけるユニット調理の効果と課題 ○赤澤芳子（大阪市大）  
5060 大学キャンパスにおける『居心地の良い場所』に関する研究 ○南幸美（和歌山大）
- 6002 市街化調整区域における土地利用コントロールとその評価に関する研究 ○濱田明子（神戸大）
- 7008 自主防災組織の活動状況と災害時要援護者対応 ○大木麻美（摂南大）  
7027 都市景観形成のための建築物の色彩誘導基準の評価に関する研究 ○北村侑（神戸大）  
7053 プノンペン（カンボジア）におけるスクウォッター地区に関する研究 その2 ○前田幸大（近畿大）
- 8009 建築物の地震災害リスク対策の遅延理由に対する考察 ○田伏祐貴（京都大）  
8017 郊外住宅地に居住する定年後夫婦の時空間 ○森田麻記子（神戸大）
- 9001 アルベルティDe re aedificatoria第十書について ○岡北一孝（京都工繊大）  
9018 ル・コルビュジエの建築作品における「水」のデザインの造形的特徴 ○萩野亮（広島大）  
9039 京丹后市久美浜町における町家の構成と特徴 ○林夏海（京都府大）

合計 24人